

たすねてみたら

No.91



最高の感動チョモランマ 多趣味で時間を有効に

前嶋 馨さん
上町

「趣味が多いと聞いていますが、在職中は、釣り、読書、ゴルフだった。退職と同時に油絵を始めた。最初は花々や日本アルプスを描いた。そのうち当然ながら、世界の山に思いを馳せて、ロッキーマウンテンの旅に出た。そうこうしているうちに世界一高い山を眺めたくなくて、二年前ネパールからのエベレスト（四二〇〇m）のトレッキングに挑戦した。描いているうちに、その姿に物足りなさを感じ、今年チベット公路からのチョモランマベースキャンプ（五二〇〇m）の旅に出た。そこでは、今までの人生で最高の感動を覚えた。現在十枚近くの絵を描いている。『その他の楽しみは「大前研一」さんは、趣味は二十位

持つことがベストと記している。それを知ってから、即フルートを始め、五年が経過した。姿勢が良くなると決して良い音が出ない。腹式呼吸もするので、健康的で楽しいものだ。また相当前の頃からと思うが、年間一〇〇冊を読破することや自作の野菜・果物を出来るだけ自給する趣味もある。現在世界全体が、格差社会となってきた。その為か芸術も衰えているとみなされているようだ。多趣味になることは、人生で一番大切な時間を有効に使うことにつながっていると思う。今年から始めた短歌から「褐色のチベット公路すすみ行くはるか彼方にエベレスト」

よい地域づくりをめざして

地区懇談会

情報を得て備えて安心な暮らしを 好評の講話 高齢者の参加増える

「住民が安心して暮らせる地域を考え、次代を担う青少年に健全な社会を残そう」をスローガンに、地区懇談会が六月二十三日上町公民館を皮切りに十四の会場を回り、七月九日星山公民館を最後に延べ三二四人が参加し行われた。講話は、夏の健康対策（保健センター）・迷惑電話対策（消費生活センター）・自主防災の基礎知識（市役所総務課）・交通安全対策（警察OB）で、地区は希望する講話を選んだ。昨年の「夏の健康対策」が好評で、今年は八会場で昼間に行われた。参加者は高齢者が多く、保健師の話す「熱中症の話」に熱



▲矢野下上郷公民館で 6/26

心に耳を傾け、メモを取っていた。講師からの「防ぐ」ひとこと。○室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、まずは「こまめな水分補給」。○今だに減らない、オレオレ詐欺や市の職員を名乗っての還付金詐欺。○自然災害は進化していない。常に防災意識をもち、「いざ」という時、情報を得て早めの避難準備が必要。「自分の命は自分で守る」。宍戸小・友部中・友部高の先生も参加された。各校共、生徒たちは落ち着いて学習に取り組んでいる。一部に規範意識の低い生徒、危険な自転車走行をする生徒等が見られ、指導を徹底している。地域の皆様には登下校の見守り継続と、気付いたことあれば連絡をお願いしたい。等が話された。各会場の参加者からは、「講話が

為になった。地域のこともわかり参加してよかった」や「震災時の備蓄品を早速、チェックしよう」等が聞かれた。

安値に人だかり

福祉バザー盛況

六月二十八日宍戸小運動会で今年も恒例のバザーが開催された。午前十時頃、若いカップルが体育館入口で、「まだやってないな」とつぶやいていたので、開始時間が十二時である事を伝えた。バザーが地域に定着している現在、興味を持ち若い方も来てくれる事に感謝したい。十二時、開場と同時に大勢の方が入場し品物を購入していた。その中でかわされる言葉が、「し

ばらくぶりお元気ですか」と、このバザーを介して、人の出会いがありホッとする場が作られていた。今回は、ささいな光景を通してその中にまたつながりを感じずにはいられない一日であり、次の年にもつなげたい行事のひとつである。人気商品洗剤、食料品は、短時間で売り切れた。おかげ様で総売り上げ金は、三十万二百二十円。ご協力ありがとうございました。



▲調味料もあっという間に完売

紙で作る昔のおもちゃ “飛行機づくりにわくわく”



▲教え方もていねいに

八月二十一日ものづくり・食事づくり、わくわく体験が宍戸支部会館で行われ、子ども十八人・保護者六人・社協関係者二十四人が参加した。会澤和美さん（南小泉二の指導で、子どもたちは紙を使って風車と

つり下げる飛行機作りに挑戦した。風車は、二枚・四枚羽根は簡単に作れたが六枚羽根以上になると「考え・工夫」しないと回らないことがわかった。飛行機は一〇〇年位前飛んでいた二枚羽根で、今は目にすることのない飛行機の作り方を子どもたちは熱心におじさんたちに尋ねていた。おじさんたちも、時の経つのを忘れ夢中になって教えていた。昼食時、出来上がった飛行機をながめながら、皆で作ったカレーライスを食べた。午後はスイカを食べた後、大塚松寿さんによるマジックショーを見物。「あれ！不思議」と歓声を上げ、時々見える「タネ」に大笑いした。昔の遊びを知り、自分で作ることの楽しさを実感した今年の夏の一日であった。

住民の強い結束力で独自の福祉活動

阿見町筑見区自治会を訪ねて

十月十一日福祉推進員の研修があった。参加者は三十四人。独自の様々な福祉活動に総務大臣賞を受賞した阿見町にある筑見区自治会を訪ねた。

研修先の自治会館では、会の役員さんがパワーポイントを用いて説明してくれた。

昭和四十年代、宅地開発が進み四十六年から入居が始まったこの住宅団地は、自主的に昭和五十一年自治会を組織し、その後「筑見区自治会」となった。

当時入居が短期間に行われたことにより高齢化が一挙に進み、今では高齢化率が四十％を越えている。住人は七十代の人が多く、三百六十世帯あるうち、子どもは十二人。

この状況から、福祉のあり方を検討し、策定した「筑見福祉計画」。

松山団地に住む女性参加者は、



▲自治会館で活動 状況を知る

「よい勉強になった。私たちの自治会でも何か出来ることをしたい」と話していたのが印象に残った。

茨城にきて事業を始めてから十年経ちました。



旧陣屋1区
田口裕樹

心の豊かさを学ぶ

けてまねをしていたのが、すっかり身につけて、周りにからかわれる程上達しました。たまに、県外の人混みで大声で話すと身内に恥ずかしがられますが、「いいべよお」と笑っています。

身につけた社会性



橋爪1区
龍福綾子

私は東京出身ですが、妻の地元は笠間市です。何度も訪れる度に海、川、湖、山と、自然豊かな土地を気に入って、こちらに引っ越すことにしました。

住んでみて驚いた事は、農産物の豊富さです。茨城の耕地面積は全国第一位で、収穫量日本一の農産物も沢山あることを知りました。

まちの声・むらの声

また、笠間市は、周囲を山々に囲まれて、美しい空気の中でゆったりとした暮らしができる場所だと思っています。

この恵まれた環境のためか、ご近所を始め、周囲の方々のお話を聞いていると、心に

余裕があり、見た目も実年齢より若く見える方が多いように感じます。美味しい空気と新鮮な食べ物をとることによって、年のとり方も変わってくるのだと思います。方言も茨城の人の温かさと魅力を感じさせる要素だと思います。まだ聞き慣れないうちは、口調をきつく感じましたが、今では優しく伝わってきます。始めは、ふざ

ので、子どもたちの心も豊かな気持ちの中で過ごせたと思います。今住む地域の方々には、登下校時にボランティアで安全を見守って頂きとても感謝しています。地域の方々と交流できる機会は、人付き合いを学んだり、自分の意見を伝える等、社会生活の基盤となると思います。

今後とも、子どもたちが心豊かに、たくましく生きていけるようご協力をお願い致します。また、次回の企画も楽しみにしています。

東国三社めぐり

公民館講座

友部公民館の地域事業「歴史出前講座」く東国三社めぐりくが9月28日(水)行われた。台風が近づくと蒸し暑い日であったが参加者34人は元気で鹿島神社、息栖神社、香取神社を巡った。

講師の南秀利先生によると「昔、伊勢参りした後で巡る『みそぎの三社参り』として、この三社を巡拝する風習があり、江戸時代中期には利根川、霞ヶ浦の舟運の発達により庶民にも広がった」とのこと。

一行は常陸の国一之宮「鹿島神社」へ参拝、うつそうとした巨木に覆われ、涼しさを感じる荘厳な雰囲気の内を散策、途中楼門の裏にあった芭蕉の句碑を真剣に読み解いていた。

鹿島セントラルホテルでの昼食のあと「息栖神社」へ、社頭の常陸利根川べりには一の鳥居が立ち、日本三大霊泉といわれる忍潮井が鳥居下にある。昔、この地が内海だった時代に、海水を押しつけて清水が湧出したという。自然が醸す神秘さを感じ

夏の思い出

八月二十一日実施

ものづくり・食事づくり
わくわく体験 感想文より

大野 加奈

私が、一番楽しかったのは、物づくり体験です。

理由は、風車や紙飛行機を初めて作ったからです。私は、おじいちゃんと小川先生に、手伝ってもらいました。すごく、きれいにできたので、よかったです。おうちでも、やりたいです。(小五)

下総の国一之宮「香取神社」は利根川を渡った香取市にある。

香取神社は鹿島神社と古来から深い関係にあり、今でも国内最大の水上祭といわれる式年神幸祭では、神輿をのせた御座船が往来するという。境内は広く参加者は快い汗を流し満足そうであった。今年も山口公民館長や高野さんの交通安全指導をいただいたの楽しい歴史旅でした。

「名月や鶴脛高き遠干潟」(芭蕉) (羽生記)

第29回 GROUND GOLF 楠原さん だんとつ



▲個人の部 1位 楠原千広さん
2位 富田美子さん 3位 川俣重穂さん

表彰者(敬称略)

☆団体の部

- 1位 橋爪いきいきクラブA 105点
- 2位 大田町第2高齢者クラブB 117点
- 3位 末広あおいクラブA 125点

個人の部

- 1位 楠原 千広 橋爪1区 23点
- 2位 富田 美子 大田町2 34点
- 3位 川俣 重穂 橋爪2区 39点

(3位は、プレーオフによる)

屋外の運動には絶好の日和となった六月六日に北山グラウンドで、宍戸地区高齢者グラウンドゴルフ大会が開催された。

ホールインワンは二十五人。今回の参加選手の男女比率は半半。女性の参加が増えつつある。広いグラウンドに、すてきなスポーツウエアを着た女性選手がはつらつとプレーする姿は、とても高齢者とは思えなかったのもしさを感じた。



▲芭蕉の句碑を読み解く参加者